

京都市東山区・山科区租税教育推進協議会（事務局：東山税務署）

令和元年度、当協議会では、小学校8校、中学校5校、高等学校2校、大学1校及び保育園1園に講師を派遣して租税教室を開催しました。

小学生には、「税とは何か」「税がなぜ必要なのか」をDVDを使って分かりやすく説明し、中学生には、「税がどのような役割を果たしているのか」について、パワーポイントを使った授業やグループ討議を行いました。

また、高等学校では、就職内定者を対象にした年末調整に関する授業のほか、家庭科のカリキュラムの中で、「税」と「年金」をテーマに、当協議会と年金事務所とのコラボ授業も行いました。



京都市下京区・南区租税教育推進協議会（事務局：下京税務署）

当協議会では、税の意義や役割を正しく理解していただくために、税務署、京都府、京都市、近畿税理士会下京支部及び下京納税協会から講師を派遣し、租税教室を開催しております。

令和元年度は、小学校7校、中学校8校、高等学校3校、専門学校2校、企業3社及び幼稚園1園で開催いたしました。



【幼稚園での租税教室の様子】

幼稚園での租税教室では、「からだ☆ダンダン」体操と税に関する「紙芝居」を実施しました。「からだ☆ダンダン」体操で、緊張している園児の体と心をほぐし、「紙芝居」に突入。「紙芝居」では、納税協会青年部と女性部の役員がお面をかぶり、演技を交えて上演。子供たちは真剣な眼差しで、最後まで静かに聞いてくれました。

租税教室開催に当たっては、依頼から実施に至るまで納税協会役員が率先して行いました。また紙芝居については、役員が何度も打合せ及び綿密なりハーサルを行うなどし、本番に臨みました。

実施後の反省会では、役員の中から次回以降の更なるアイデアがあふれ出し、開催園の増加を誓いました。